**令和　　年　　月　　日**

　　　　　工事名

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

シーカプラン防水システム施工要領書

|  |  |
| --- | --- |
| 仕　　　様 | 接着断熱工法 |
| 仕様記号 | 15G-FA-UR（断熱材：硬質ウレタン） |
| 下　　　地 | RC下地 |

施工会社

材料販売会社

目 　次

１ 　・・・・・　 　総　　則

２ 　・・・・・　 　工事概要

３ 　・・・・・　 　工事体系

４ 　・・・・・　 　防水仕様及び使用材料

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　５　　・・・・・　　　施工方法

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　６　　・・・・・　　　安全管理

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　７　　・・・・・　　　添付資料

**１．　総則**

　　　　○　本施工要領書は【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 】内のシーカプラン接着断熱工法定に適

用するものであり、記載無き事項は設計図書及び標準仕様書に従い不備無きことを確認の上

施工する。

○　材料の品質に不具合を確認した場合は速やかに担当者に報告する。

　　　○　施工上の都合により本施工要領書の記載事項に変更が生じた場合は、監督者と協議の上

　　　　 その承諾のもとで施工する。

　　　○　工事においてその関係者は仕様及び納まりその他連絡事項を周知徹底し、責任をもって上質

　　　　 　　で安全な施工を心がけて作業する。

**２．　工事概要**

　　　工事名称

　　　　所在地

　　　　発注者

　　　　設計 ・ 監理

　　　　元請業者

　　　　防水施工業者

　　　　工期　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日　　～　　令和　　年　　月　　日

**３．　工事体系**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 発注者 | |  | | |
|  | | |  |
|  | | 元請 | |  | |  |
|  | | | |
| 防水材メーカー  シーカ・ジャパン株式会社 |  | 防水業者 | |  | | |
|  |
|  |  |  | | | |
| 現場担当者 | |  | 施工班 | |
|  |

**４．　防水仕様及び使用材料**

**４－１　防水仕様**

　　　　　　【　平場　】

|  |  |
| --- | --- |
| 工　法 | 接着断熱工法 |
| システム記号 | 15G-FA-UR |

　　　　　　【　立上り　】

|  |  |
| --- | --- |
| 工　法 | 機械的固定工法 |

**４－２　使用材料**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **材料名** | **規　格** | **備　考** |
| シーカプラン 15G | 幅1.54m×長さ10m  厚さ 2.0mm  色： | 塩化ビニル樹脂系防水シート |
| SPLボンド | 15kg／缶 | ニトリルゴム系接着剤  シーカプランGと断熱材の接着用 |
| SPL溶着剤 | 4L／缶、16L／缶 | シーカプランG相互の接合部溶着用 |
| シームシーラント | 1L／缶 | シーカプランG相互の接合末端部のシール材 |
| SPLコーナーパッチA | 色： | 出隅部増張り用シート成形品 |
| SPLコーナーパッチB | 色： | 入隅部増張り用シート成形品 |
| SPLアルミテープ | 25mm×50m | SPL塩ビ鋼板接合部・切り使い部用アルミ絶縁テープ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **材料名** | **規　格** | **備　考** |
| SikaRoof® Board Adhesive | 750ml/缶 | 下地と断熱材の接着用 |
| Sika ブームクリーナー | 500ml/缶 | アプリケーションガンの洗浄用 |
| アプリケーションガン | ― | SikaRoof® Board Adhesive  施工用工具 |
| 硬質ウレタンフォーム  接着用 | 厚さ：  規格：910mm×1820mm | 両面防湿層付硬質ウレタン系断熱材 |
| SPL鋼板 K1 | 規格：  55mm×2m | 塩ビ被覆鋼板  入隅部に使用 |
| SPL鋼板 K2 | 規格  55mm×10mm×2m | 塩ビ被覆鋼板  入隅部に使用 |
| SPL－K4 | 55mm×20mm×2m | 塩ビ被覆鋼板  入隅部に使用  (立上りシート後張りの場合) |
| SPL－K5 | 55mm×55mm×2m | 塩ビ被覆鋼板  入隅部に使用  (立上りシート先張りの場合) |
| SPL－K7 | 80mm×50mm×10mm×2m | 塩ビ被覆鋼板  立上り天端部に使用 |
| SPLドレン鋼板 | 455mm×455mm φ110mm穴 | 縦・横ドレン部に使用 |
| SPLスクリュー | 規格：φ7.0×50mm | SPL鋼板（立上り）の固定用アンカー |
| SPLスクリュー | φ7mm×70mm,80mm,95mm,120mm | 塩ビ鋼板（平場側）の固定に使用 |
| SPLマット | 1.2m×100m  厚さ 2.0mm | シーカプランと下地の絶縁緩衝シート  （立上りのみ） |
| SPLエマルション100 | 18ｋg／缶 | アクリルエマルション系接着剤 |
| SPLテープ | 50mm×50m | SPLマット接合部用PPテープ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **材料名** | **規　格** | **備　考** |
| SPLアルミテープ50 | 幅50mm×長さ50m | 断熱材目地部に使用 |
| SPLドレン/大/本体/  φ100mm用 | 外径φ250mm | 塩ビ製改修用ドレン  既存φ100mm用 |
| タイダクトホースGL-2  φ86mm用 | 長さ 5m | 縦・横ドレン用フレキシブルホース  （現場で任意の長さにカット） |
| 塩ビパイプ用ボンド | 100g／缶 | SPLドレンとタイダクトホース  接合用接着剤 |
| Hamatite SC-MS1NB-LM | 320mLカートリッジ | シート端末用(SPL-K2端末)  変成シリコーン系シーリング材 |
| Hamatite クイッ急NB | 320mLカートリッジ | SPL塩ビ鋼板(SPL-K2，K7)  裏打ち用ポリウレタン系シーリング材 |
| プライマーNo.40 | 500g／缶 | Hamatite SC-MS1NB-LM専用プライマー |
| 各種プライマー |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**５．施工の流れ**

５－１　平場・外周部

|  |  |
| --- | --- |
| RC下地 | |
|  |  |
| 既存防水洗浄または清掃 | |
|  | |
| 各種プライマー塗布 | |
|  |  |
| SikaRoof® Board Adhesive塗布 | |
|  |  |
| 硬質ウレタンフォーム敷設（SikaRoof® Board Adhesive硬化後、  断熱材目地部にテープ貼り） | |
|  | |
| SPL鋼板（入隅部・側溝など）を固定 | |
|  |  |
| 断熱材表面、シーカプランG裏面にSPLボンド塗布 | |
|  | |
| シーカプランG貼り付け | |
|  |  |
| シーカプランG相互を溶融着 | |
|  |  |
| シーカプランG接合末端部をシームシーラント処理 | |

**６．　施工方法**

**６－１　下地確認及び下地処理**

○　施工下地の不陸　・　突起　・　段差　・　脆弱な部分などがないか点検し、撤去や補修については打合せの上その方法を決定する。

　　　　　　○　既存防水層がある場合は膨れ・水溜りなどを補修し、出来る限り平滑な下地を作る。

○　下地処理確認後良く清掃し、各種プライマーをローラー等の工具で均一に塗布する。

**６－２　シーカプラン接着断熱システム 施工法**

（１）平場部・外周部施工

1. 下地面へのSikaRoof® Board Adhesive塗布・断熱材の敷設

○　プライマー養生後専用のアプリケーションガンを使用し、下地SikaRoof® Board Adhesiveを塗布し硬質ウレタンフォームを目違いがないように敷設する。硬化

後、断熱材の突合せ部にSPLアルミテープ50を貼る。

・SikaRoof® Board Adhesiveがある程度硬化するまでは断熱材上を歩行しな

いように注意すること。

・施工中風が強く巻き込みが懸念される場合は断熱材が飛散する恐れがある

ので施工を見合わせる。

○　SikaRoof® Board Adhesiveの標準塗布間隔は別途塗布割り付けを参考

1. SPL塩ビ鋼板の固定

〇　各部位にSPL塩ビ鋼板をSPLスクリューで固定する。

〇　SPL塩ビ被覆鋼板のジョイントおよび切り使い部は3～5mm程度開けSPLアル

　　ミテープを貼る。

切り使い部のビス穴はディンプルパンチを使用してビス穴加工する。

　　　　　　　　　○　SPL塩ビ鋼板（SPL-K2およびK7）の裏面にはシーリング（Hamatite クイッ急NB）を

　　　　　　　　　　　 必ず充填すること。

1. 断熱材表面への接着剤塗布

○　断熱材表面に接着剤（SPLボンド）をむらなく、付属のクシゴテで均一に塗布

　　する。塗布した接着剤は、完全に乾燥させる。

1. シーカプラン G　裏面への接着剤塗布

　　　　　　○　シーカプラン G裏面に接着剤（SPLボンド）をむらなく、付属のクシゴテで均一

　　　　　　　　　　に塗布する。

　　　　　　　 シーカプラン G相互の接合部には接着剤を塗布しない。

　　　　　　　　　　塗布した接着剤は、指触乾燥で指紋が残る程度で接着させる。

1. シーカプラン Gの貼り付け

〇　シーカプラン Gの裏面の接着剤の指触乾燥確認後、割り付け位置に合わせ

　　てエアーの抱き込みのないように注意してシーカプラン Gを貼り込み、ローラ

ーなどで転圧する。

1. シーカプラン G相互の溶融着処理

* シーカプラン G相互の接合幅は40mm以上とし、溶剤溶着または熱融着で常に丁寧

で確実な溶融着を心がける。

* 接合部の状態を入念に確認し、不備があれば熱風溶接機で融着する。

1. シーカプランG接合末端部のシール処理

　　　　　　　　　○　シーカプラン接合末端部はシームシーラントでシール処理する。

シームシーラントが硬化している場合は、攪拌棒などで攪拌してから使用する。

　（２）　立上り部施工

1. 絶縁　・　緩衝シート敷き込み

　　　　　　　　　○　平場部全体にSPLマットを敷き込む。

　　　　　　　　　○　必要に応じて仮止め用接着剤SPLエマルション１００を塗布する。

* SPLマットのジョイントは突き付けとし、SPLテープを貼る。

1. SPL塩ビ被覆鋼板の固定

　　　　　　　　　○　立ち上がり各部位にSPL塩ビ鋼板をSPLスクリューで固定する。

　　　　　　　　　○　SPL塩ビ被覆鋼板のジョイントおよび切り使い部は3～5mm程度開けSPLクラフトを貼

る。切り使い部のビス穴はディンプルパンチを使用してビス穴加工する。

* SPL塩ビ鋼板（K2,K7）の裏面にはシーリング(Hamatite クイッ急NB)を必ず充填すること。

1. シーカプランGとSPL塩ビ被覆鋼板の溶融着処理

　　　　　　　　　○　立上り部にシーカプランGをしわが出ないように端部と平場外周部のSPL塩ビ被覆

　　　　　　　　　　　 鋼板に熱風溶接または溶剤溶着する。

　　　　　　　　　○　溶融着は常に丁寧で確実に行うことを心がける。

* 接合部の状態を入念に確認し、不備があれば熱風溶接機で融着する。

1. シーカプランG相互の溶融着処理

　　　　　　　　　○　シーカプランG相互の接合幅は４０mm以上とし、常に丁寧で確実な溶融着を心がける。

○　接合部の状態を入念に確認し、不備があれば熱風溶接機で融着する。

1. コーナー部の処理

○　コーナーの出入隅部にはSPLコーナーパッチまたはシーカプランGをカットしたシート

を用いて熱融着する。

○　コーナーの出入隅部には３枚重ねなどシートの段差が多く発生する為、水みちの出な

いように丁寧で確実な融着を心がける。

1. シーカプラン接合末端部およびコーナー部のシール処理

　　　　　　　　　○　シーカプラン接合末端部はシームシーラントでシール処理する。

1. ドレン部の処理

* SPLドレン鋼板を下地形状にあわせ加工し、固定する。
* SPLドレンとタイダクトホースをボンド塩ビパイプ用を使用して接合し、既存パイプに

セットしてから、SPLドレン鋼板に熱風溶接または溶剤溶着する。

　　　　　　　　　○　SPLドレン接合末端部はシームシーラントでシール処理する。

**７．　安全管理**

**７－１　一般項目**

　　　　　　　　①　労働基準法等に定められている安全規則と各現場での安全規則を守ること。

　　　　　　　　②　保護帽や作業服は正しく着用すること。

　　　　　　　　③　健康管理は怠らず良好な体調で作業すること。

　　　　　　　　④　工具類は点検し正しく使うこと。

**７－２　危険作業の防止及び禁止項目**

　　　　　　　　①　台風などの強風で危険が予測される場合は、事前に材料・工具等の飛散防止の

養生をし、作業を見合わせる。

　　　　　　　　②　大雨などで危険が予測される場合は、事前に雨養生をし、作業を見合わせる。

　　　　　　　　③　作業中の降雨は落雷に注意し、速やかに階下へ避難すること。

　　　　　　　　④　火の気がある場所で溶剤系の材料を使用しないこと。

　　　　　　　　⑤　つまずきや転倒が起きないように作業場は整理整頓すること。

　　　　　　　　⑥　消火器の設置場所及び使用方法を確認すること。

　　　　　　　　⑦　指定場所以外での喫煙はしないこと。